

南極・昭和基地からライブ授業！「南極授業」のご案内

広島叡智学園（^{ハイガ}HiGA）は、「世界中のどこにおいても、地域や世界の『よりよい未来』を創造できるリーダーの育成」を目指す全寮制の県立中高一貫教育校です。外国人等留学生を含む214人が、国際バカロレアの学習に取り組んでいます。

現在、本校の南迫勝彦教諭（社会科）が、第65次南極地域観測隊に同行し、南極・昭和基地へ派遣されています。

この度、南極観測の意義や魅力を生徒たちに届ける目的で、衛星回線を通じて生中継で本校生徒に「南極授業」を実施します。

1 日 時

令和6年1月30日（火）15：10～16：45

2 場 所

広島県立広島叡智学園中学校・高等学校

（豊田郡大崎上島町大串3137-2）

カフェトリウム

3 内 容

○当日のタイムスケジュール

15：10～ 観測隊（お魚チーム）と中継、昭和基地案内と越冬隊紹介、観測事業の説明

16：00～ 生徒実践報告

16：25～ ディスカッション

「平和な社会づくりの実現に向けて～極地と広島から考える Well-being～」

※現地悪天候の場合は、一部内容を変更することがあります。

○使用言語

日本語

4 取材申込について

取材を希望される社は 1月26日（金）16：00までに申し込みをしてください。



<申込先>

広島叡智学園中学校 担当：田端 真理子

TEL：0846-67-5581 / mail：ecyuko@hiroshima-c.ed.jp

第65次南極地域観測隊に同行している現職の学校教員が国内向けに特別授業を行います

南極・昭和基地からライブ授業！「南極授業」のご案内

国立極地研究所は（公財）日本極地研究振興会と共同で、大阪府立吹田支援学校および広島県立広島叡智学園中学校・高等学校で「南極授業」を開催します。

本取り組みは、2009年から開始している「教員南極派遣プログラム」の一環で実施します。南極・昭和基地へ派遣された現職の学校教員がそれぞれ工夫した授業プログラムを制作し、衛星回線を通じて生中継で所属校の生徒に向けて授業を行います。「南極授業」を通じて、南極観測の意義や魅力を子どもたちへ届けることを目的としています。

今年は大阪府と広島県の2校で実施予定です。本番当日は会場でご取材が可能ですので、ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加をお願いいたします。ご参加いただける場合は、以下の締め切り日時までに、各実施校へ直接お申し込みください。

～記～

○大阪府

- ・日時 (第1回) 2024年1月24日(水) 13:30-14:20
(第2回) 2024年1月26日(金) 13:30-14:20
- ・会場 大阪府立吹田支援学校(大阪府吹田市芳野町13番120号)
- ・問い合わせ (06) 6389-9520 (富永、矢田)
※開催日前日の12:00までにお申し込みください。

○広島県

- ・日時 2024年1月30日(火) 15:10-16:45
- ・会場 広島県立広島叡智学園中学校・高等学校(広島県豊田郡大崎上島町大串3137-2)
- ・問い合わせ 0846-67-5581
※開催日前日の16:00までにお申し込みください。

(注意事項)

- ・授業の様子はご撮影いただけますが、撮影不可の生徒がいるため、使用される場合は必ず学校へのご確認をお願いいたします。

◆授業を行う教員のご紹介

- うだがわ よりこ
・宇田川 順子(大阪府立吹田支援学校)
- みなみざこ かつひこ
・南 迫 勝彦(広島県立広島叡智学園中学校・高等学校)

【本件に関する報道関係のお問い合わせ先】

国立極地研究所 広報室

MAIL: koho@nipr.ac.jp TEL: 042-512-0655

◆教員南極派遣プログラムについて

教員南極派遣プログラムは、極域科学や極地観測に興味を持つ小・中・高校等の現職教員を南極地域観測隊の同行者として南極に派遣するもので、国立極地研究所と公益財団法人日本極地研究振興会が、文部科学省（南極地域観測統合推進本部事務局）と連携して実施しています。

本プログラムは、派遣教員が南極・昭和基地から衛星回線を経由して所属校に対して実施する「南極授業」や帰国後の活動等を通じて、国内の小・中・高等学校等の児童生徒に対して、南極に関する理解向上につながる様々な情報発信をしていただくことを目的としています。さらに、その活動を通じ、派遣教員自身が南極、地球環境及び南極地域観測事業等に関する知識を習得し、自己研鑽を積むことも期待しています。



◆行動スケジュールの概要

第65次南極地域観測隊は、2023年11月24日に日本を出発し、その後、豪・フリーマントルから南極観測船「しらせ」に乗船して南極へ向かい、12月20日に昭和基地に入りました。今次隊の教員による南極授業は、宇田川教諭が担当する2回と南迫教諭が担当する1回の計3回の実施を予定しています。

宇田川教諭と南迫教諭は、2月中に昭和基地を離れ、2024年3月21日に帰国する予定です。

【本件に関する報道関係のお問い合わせ先】

国立極地研究所 広報室

MAIL : koho@nipr.ac.jp TEL : 042-512-0655